

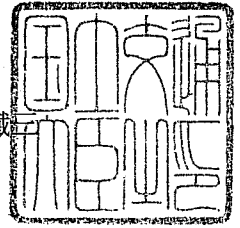
認 定 書

国住指第 1157 号

平成 19 年 8 月 28 日

積水化学工業株式会社
代表取締役 大久保 尚武 様

国土交通大臣 冬柴 鐵



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ〔防火区画貫通部 1 時間遮炎性能〕の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

PS060WL-0373

2. 認定をした構造方法等の名称

給・排水管／アルミニウムはく積層紙・黒鉛含有ブチルゴムシート・ポリエチレン系樹脂フィルム・モルタル充てん／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）

3. 認定をした構造方法等の内容

別添のとおり

（注意） この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名

給・排水管／アルミニウムはく積層紙・黒鉛含有ブチルゴムシート・ポリエチレン系樹脂フィルム・モルタル充てん／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）

2. 寸法及び形状等

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
開 口 部	(形状) (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)円形 (2)矩形 (寸法) 縦 150 以下×横 250 以下 (面積) 0.0375 m ² 以下
占 積 率 (開口面積に対する被覆金属強化 ポリエチレン管断面面積の総合計の割合)	22.4% 以下 (0.0084 m ² 以下)
貫通する壁の構造等	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) ALCパネル ・厚さ 100 以上 (2) コンクリート ・厚さ 100 以上

3. 材料構成

(寸法単位：mm)

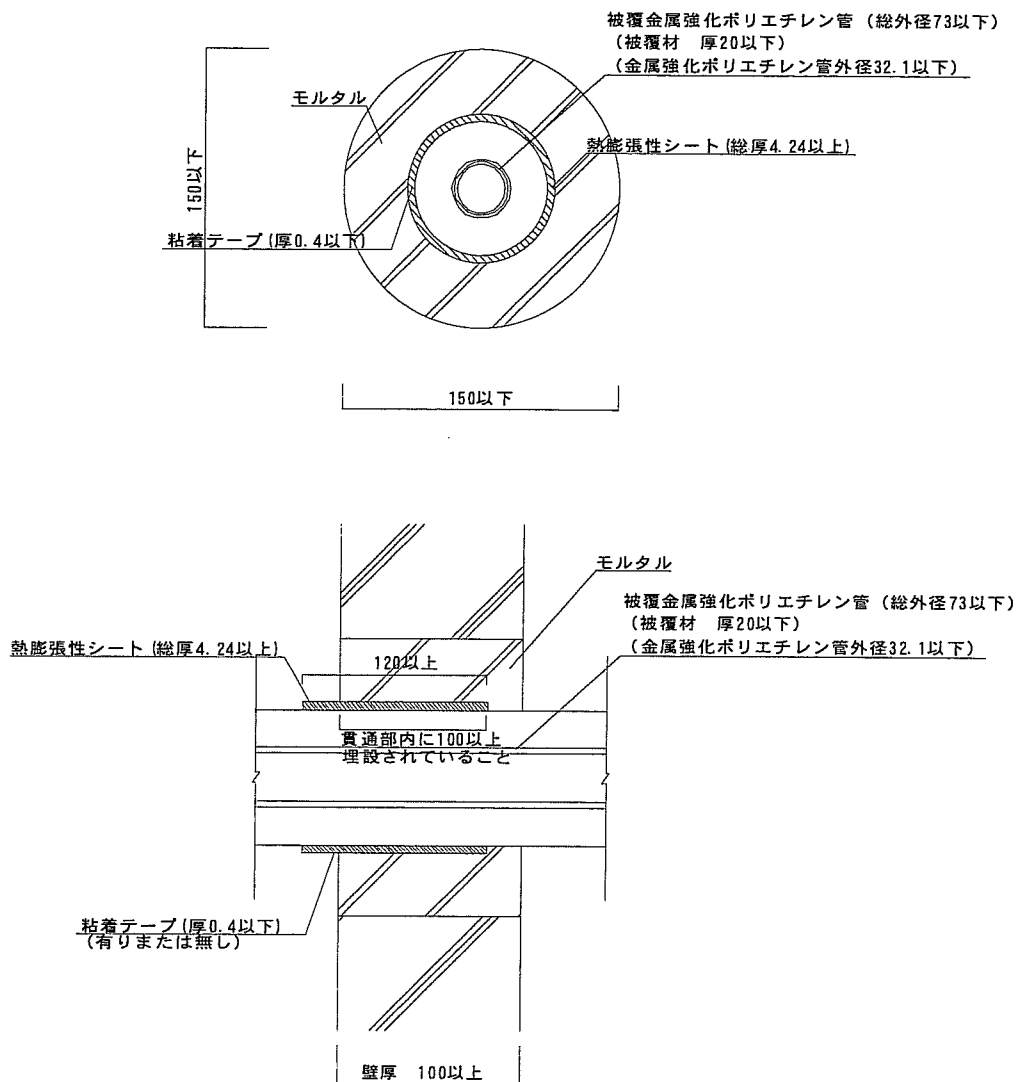
項目	申 請 構 造		
給・排水 管	被覆金属強化 ポリエチレン管	総外径	73 以下
		外 径	32.1 以下
		本 数	2 本以下
		構 成	ポリエチレン管・補強層(アルミニウム)・ポリエチレン管
	被 覆 材	材 質	(1)～(6)のうち、いずれか一仕様とする (1)ポリエチレン系樹脂 (2)ポリウレタン系樹脂 (3)ポリプロピレン系樹脂 (4)ポリスチレン系樹脂 (5)フェノール系樹脂 (6)塩化ビニル系樹脂
		厚 さ	20 以下
		密 度	15 kg/m ³ 以上

(寸法単位：mm)

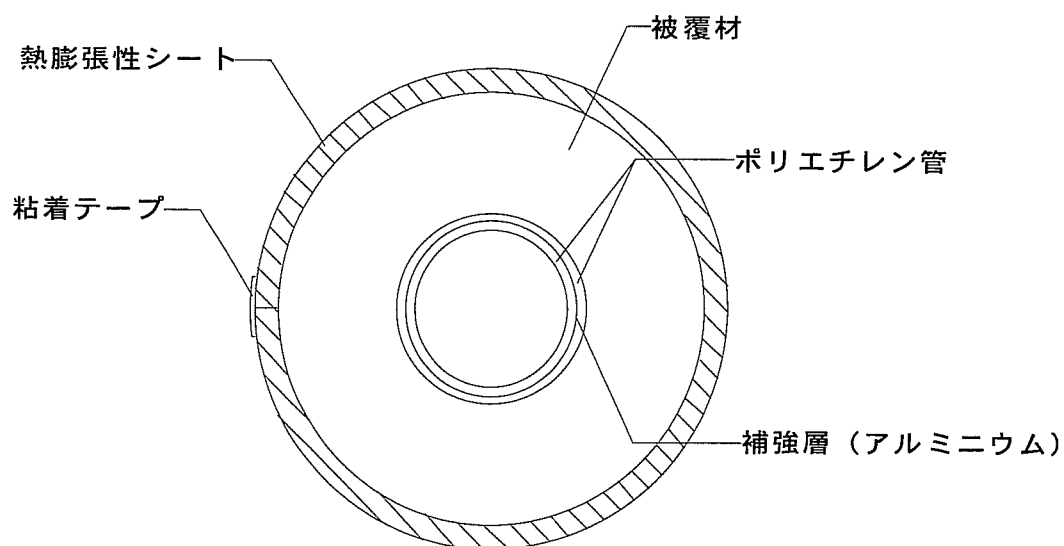
項目	申請構造				
防火措置材料	アルミニウムはく積層紙・黒鉛含有ブチルゴムシート・ポリエチレン系樹脂フィルム (以下、熱膨張性シートという)	総厚さ		4.24 以上	
		幅		120 _{-1.5} 以上	
		基材 1	材質	アルミニウムはく積層紙	
			厚さ	0.14 _{±0.02}	
			幅	120 _{-1.5} 以上	
		シート	材質	黒鉛含有ブチルゴムシート	
			厚さ	4.0 以上	
			幅	120 _{-1.5} 以上	
			組成 (質量%)		
		基材 2	材質	ポリエチレン系樹脂フィルム	
	厚さ		0.10 以下		
	幅		120 _{-1.5} 以上		
	粘着テープ (熱膨張性シート 固定用)	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)粘着テープあり (2)粘着テープなし			
		材質	1)～3)のうち、いずれか一仕様とする 1)片面粘着テープ 2)両面粘着テープ 3)アルミニウムテープ		
厚さ		0.4 以下			
幅		120 _{+1.5} 以下			
充てん材	材質	モルタル			
	厚さ	100 以上			

(寸法単位：mm)

(2) 円形の場合



(3) 管および防火措置材料詳細図



注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

(別添-4)

5. 施工方法等

<施工手順>

(1) 事前準備

- (1)-1 ① 被覆金属強化ポリエチレン管が区画貫通する位置に予め開口部を設置する。
② 開口部に配管する

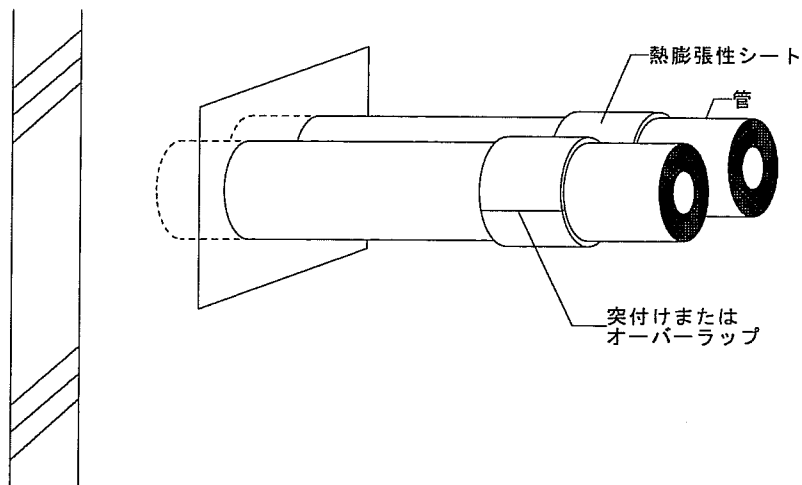
(2) 区画貫通処置

- (2)-1 ① 熱膨張性シート巻付け位置の設定

熱膨張性シートを巻付ける位置に墨出しをする。墨の位置は熱膨張性シートが壁体内に100mm以上巻付けられる位置にする。

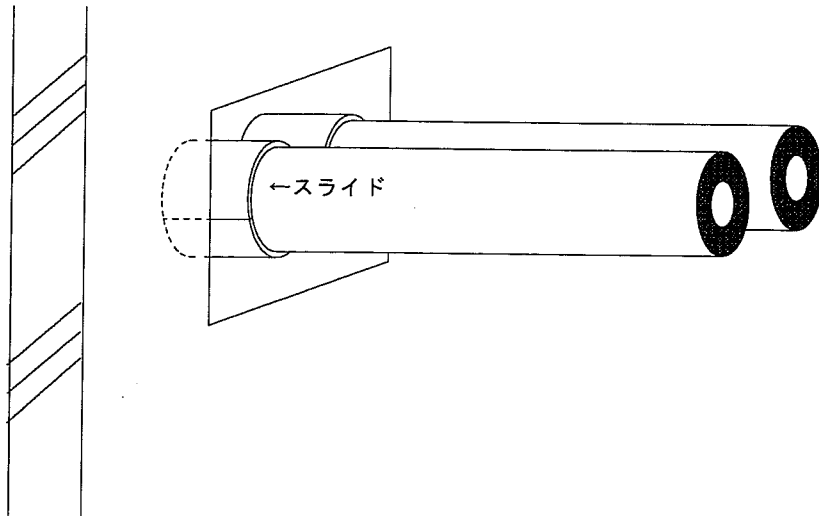
- ② 熱膨張性シートの巻付け

被覆金属強化ポリエチレン管に熱膨張性シートを巻付け、粘着テープで固定する。熱膨張性シートは巻物のまま直接管に巻付けてもよいし、所定の長さに予め裁断したものを巻付けてもよい。また、熱膨張性シート巻付けの初端と終端は隙間なく必ず接するように巻付ける(オーバーラップ可)。



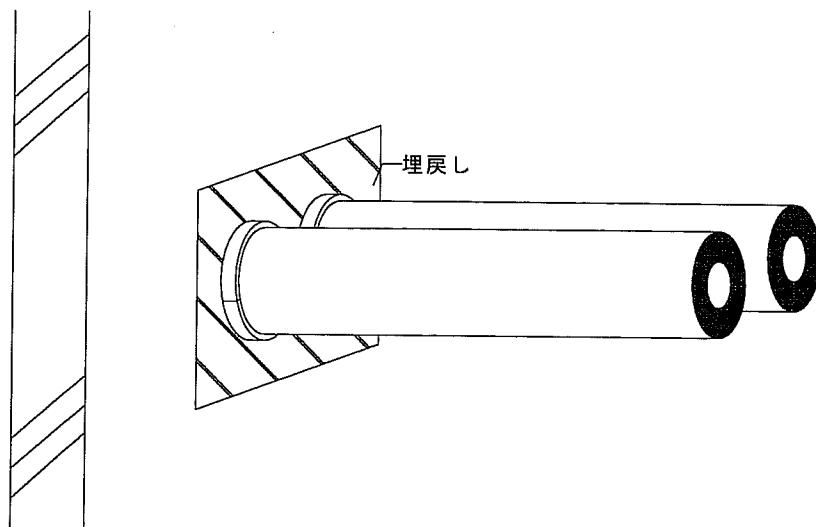
③ 熱膨張性シートの設置

熱膨張性シートを墨出しした位置にスライドさせ、設置する。

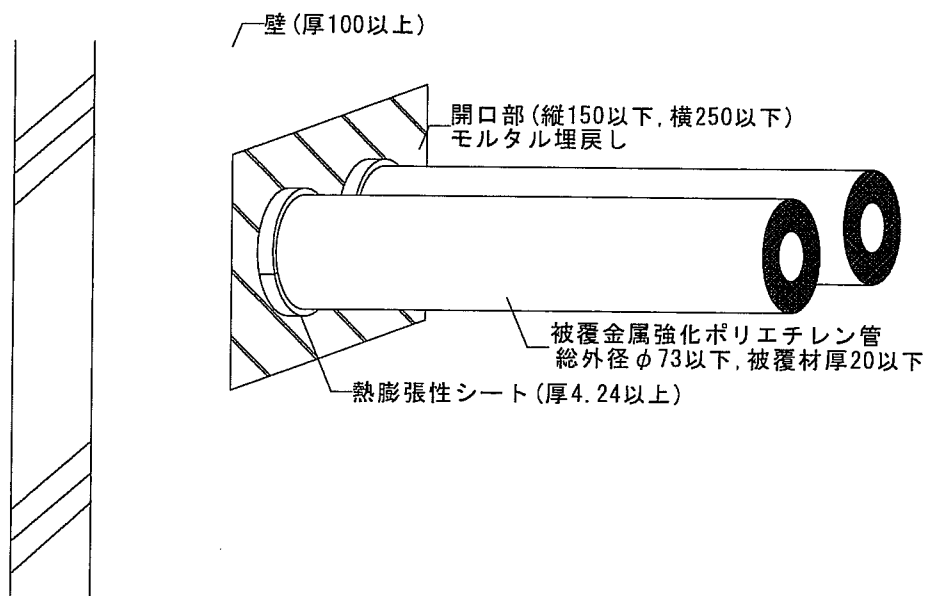


④ 開口部の処理

隙間にモルタルを充てんする。



<施工図>



6. 注意事項

本構造に使用する熱膨張性シートについては、耐久性に留意し、所定の耐火上の性能が維持されるよう適切な処理を行う必要がある。